



みどりのクールスポット

【服部剛、スクリーン使用】「危険な暑さ」から命を守る対策として、主要な駅周辺の歩道、学校へのミスト装置、公園への「みどりのクールスポット」の設置を検討していただきたい。

【保健衛生局長】本市においては、教育委員会が、市立小中学校へ、ミスト装置の設置を行っている。都市局においては、公園等に高木を植栽したり、藤棚を設置するなど「みどりのクールスポット」につながる取り組みを実施している。

引き続き、関係各局が緊密に連携し、熱中症対策の推進に努める。

みどりのクールスポット(国交省)→



武蔵野線 明花駅

【津和野真佐子、スクリーン使用】利便性向上のための公共交通の更なる充実について、南浦和駅と東浦和駅の間位置する(仮称)明花(みょうばな)駅の新設が必要。

【都市局長】JR武蔵野線の南浦和駅と東浦和駅の間位置する駅の新設に向けたこれまでの取り組みとしては、昭和60(1985)年より鉄道事業者に対して要望活動を行っている。

現在も埼玉県がとりまとめている武蔵野線旅客輸送改善対策協議会を通じ、鉄道事業者に対して要望している。

今後、土地区画整備事業によらないまちづくりへの転換で、地区の特性に応じたまちづくりについて、地元と意見交換を行う。



武蔵浦和義務教育学校

【吉村豪介】武蔵浦和の義務教育学校設置について住民投票で、是非を問うてみるべき。

【教育長】武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校の設置を最善の策と考えているので、住民投票は想定していないが、教育委員会としては、保護者や地域の皆様方にご理解いただけるよう、誠意をもって説明する。

教育委員会としては、本義務教育学校の令和10年4月の開校に向け、沼影公園を所管する都市局と連携して計画を進めており、本計画の延期はない。

また、イベント等に関しては、都市局等から要請等があれば、考える。義務教育学校設置について→



マイナ保険資格確認証

【佐藤征治郎、スクリーン使用】マイナ保険証を持っていない場合の、資格確認証の有効期限は5年以内で保険者が設定できるが、さいたま市は有効期限をどう考えるか。

【保健局長】資格確認証について、国は当分の間、マイナ保険証を保有していない方や、保険者が必要と認められた方については、本人の申請によらず交付する方針としている。

有効期限は5年以内で、各保険者が設定できるが、国民健康保険と後期高齢者医療制度は、前年の所得に応じて自己負担額が変わる方もいるので有効期限は1年とする必要がある。

今後も、安心して確実に保険診療が受けられるよう取り組む。



スクラップヤード

【佐々木郷美、スクリーン使用】再生資源物の屋外管理(スクラップヤード)に関する条例は、市の規制だけでは限界があるので、法整備の必要性を国へ要望していくべき。

【市長】条例改正による罰則は、地方自治法により、その上限が定められており、一部の悪質な事業者に対する十分な抑止力につながらないおそれがある。

また、環境破壊への対応も含めた再生資源物事業の在り方についても、議論を深めることが必要な時期に来ている。埼玉県をはじめ、同問題を抱えている他の指定都と情報共有を図り、法整備の必要性について検討し、国にもしっかり通したいと考える。



又ウ年キャンペーン★質問

【県民公論】来年(平成6年)の辰(竜)年に向けての、本市PRキャラクター「又ウ」ちゃんの意気込みをお聞かせください。

【又ウ】来年は「さいたま市つなご竜又ウ年」だ又ウ！まずは、市民のみなさんの年賀状や年賀メールに「又ウ」のイラストを使ってほしい又ウ！

また、又ウのイラストコンテストや「又ウガチャ」などの又ウグッズによる「又ウ年キャンペーン」で本市を明るく元気に盛り上げたい又ウ！

誰でも使える「又ウ」デザイン集→



新都心駅から新庁舎まで動く歩道「さいたまスカイウォーク」設置を！〈市民提案〉

“市民のための夢と希望あふれる日本一の市庁舎”をめざし、さいたま新都心駅東口から新庁舎までの約500メートルに、ペDESTリアンデッキタイプの「動く歩道」設置を市民提案します。駅と駅外施設を結ぶ動く歩道は、JR恵比寿駅と「恵比寿ガーデンプレイス」間400メートルを空中で結んでいる「エビススカイウォーク」で実証済みです。移動補助と観光資源にもなる「さいたまスカイウォーク」の設置を！



「恵比寿スカイウォーク」は1年中、天候に関わりなく快適に通行できます(約5分)

県民公論は「さいたま市CS・SDGsパートナーズ」●本紙はSDGs推進の環境適正印刷方式で作成

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 県民公論 電子版

市民の笑顔と熱気にあふれた姿

■サッカーのまち さいたま

FIFA女子ワールドカップオーストラリア&ニュージーランド2023では、なでしこジャパンが世界の強豪国を相手に熱戦を繰り広げました。惜しくも、準決勝進出はなりませんでした。本市をホームタウンとする、WEリーグの三菱重工浦和レッズレディースから選出されました猶本光選手、清家貴子選手、高橋はな選手、石川璃音選手の4選手も奮闘し、私たちに勇気と感動を与えてくれました。

本市でも、大会開催時期に合わせて、市内における写真展の実施や大会告知動画の放映、応援看板の掲出など、「サッカーのまち さいたま」として、市民の皆様をはじめとするファンやサポーターの機運醸成を図りました。

- また、本市では、
・小学生女子サッカークリニック*1
・スマイルプロジェクト*2
・SAITAMA GIRLSMATCH*3

など、女子サッカーの活性化に向けた取組を実施しております。

さいたま市から多くの選手が世界の舞台に羽ばたき、「サッカーのまち さいたま」、ひいては日本の女子サッカーのさらなる発展につながるよう、引き続き取り組んでまいります。

■復活した夏祭りや花火大会

次に、この夏は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、中止となっておりました夏祭りが、市内各地で開催されたほか、さいたま市花火大会も、市内3会場において、4年ぶりに有観客で開催されました。

市民の皆様笑顔と熱気にあふれた姿は、コロナ禍で失われていた日常を取り戻し、地域のつながり、絆を深める機会になったかと思えます。これもひとえに、議員各位、並びに市民の皆様、関係機関の御理解と御尽力の賜物でございます。この場を借りて、感謝申し上げます。

10月14日には、さいたま市政令指定都市20周年記念花火大会が開催されます。多彩な光と音のハーモニーが、秋の夜空を彩り、多くの市民の皆様にお楽しみいただけるものと期待しております。

■さいたま国際芸術祭2023

さて、いよいよ10月7日から「さいたま国際芸術祭2023」が始まります。アートを鑑賞するだけでなく、共につくる、参加する市民参加型の芸術祭として、12月10日までの65日間、市内各地でさまざまな文化芸術事業を実施いたします。

会期中は、メイン会場の旧市民会館おみやを中心、国内外で活躍するアーティストによる最先端の作品や現代美術、音楽、演劇などといった多種多様な演目が行われるほか、市民の皆様が文化芸術を気軽に体験できる「市民プロジェクト」や、さいたま市の文化芸術資源との連携を図る「連携プロジェクト」などを実施してまいります。これらの取組を通じて、文化芸術の持つ創造性や波及力を活用して地域の活性化を図ることにより、文化芸術都市としての本市の魅力を高めてまいります。

■LINE機能強化で効果的情報発信

次に、市政情報の発信強化のため、市民一人ひとりにあった情報をプッシュ型で届けることができるよう、LINEの機能を強化いたしました。先ほど申しあげました政令指定都市20周年記念花火大会やさいたま国際芸術祭をはじめとしたイベント情報や、子育てや福祉など市民生活に深くかわる情報を、より迅速に、より確実に提供することで、市民の皆様興味・関心を高めることができるよう効果的な情報発信を行ってまいります。

■県と連携し県都の責務果たす

最後に、去る8月6日に、埼玉県知事選挙が行われ、現職の大野元裕 埼玉県知事が再選されました。本市も大野知事の公約である「あと数マイルプロジェクト」での地下鉄7号線の延伸や、埼玉版スーパーシティプロジェクトなどにおいて、埼玉県と連携しながら、事業を前に進めてまいりました。今後も、さいたま市といたしましては、引き続き県都としてその責務を果たしていくとともに、市政の発展と市民満足度向上のために埼玉県とともに取り組んでまいりたいと考えております。

(令和5年9月6日 さいたま市議会本会議場)



【小学生女子サッカークリニック】=市内のサッカー少年団やサッカークラブ等に所属する方を中心に、サッカーに取り組む小学生女子の合同練習会を月1回程度開催。技術の向上はもとより、中学生年代以降に競技を継続しやすい環境を整えることを目的としています。

【スマイルプロジェクト】=こんな方にお勧めします。
・中学校に女子サッカー部がなく、サッカーができる場所を探している！
・「サッカーはやったことはないけれど、女子だけの練習会だったらチャレンジしたい！」
・浦和レッドダイヤモンズ、大宮アルディージャのコーチから指導を受けてみたい！
・みんなで一緒に楽しくサッカーをしながら、仲間・友達をつくりたい！

【SAITAMA GIRLS MATCH】=市内女子中学生のサッカー環境を盛り上げるため、さいたま市及び近隣市の中学校サッカー部やクラブチーム等の交流大会として平成25年度に始まった中学生年代の女子サッカー大会。
(参考:さいたま市スポーツ文化局)



令和5年9月定例会代表・一般質問

■議長：江原大輔 ■副議長：神坂達成

■代表質問＝議会内で政党や思想信条が同じ議員の集まりである「会派」を代表して、市政全般について質問すること。

■一般質問＝議員の調査・研究・地域活動等から見出された各種の市政問題点を提起する、議員の見識と実力が問われる質問。

- 本紙では質問・答弁の一部を抜粋しています。
- 会派名は質問時の名称です。

- 【立憲】＝立憲民主・無所属の会さいたま市議員団
- 【さい自民】＝さいたま市議会自由民主党議員団
- 【自民市議】＝自由民主党さいたま市議会議員団
- 【みらい】＝無所属みらい



単身高齢者支援

Q【代表質問、スクリーン使用】単身高齢者世帯が増加する中、身近に頼れる人がいない人も多く、不安を抱える高齢者に対し、さいたま市としてどのように支援していくのか。

A【高橋副市長】本市の単身高齢者世帯数は、55,934世帯(2年度国政調査)となり、前回調査(平成27年)と比較して増加。老後に不安を抱える方が、相談できる窓口については、現在、身近な地域ごとに専門職を配置する「地域包括支援センター」が、相談者の不安を感じている状況に合わせ対応し、社会福祉協議会は「高齢者くらしあんしん事業」を実施。先進事例を参考とし、高齢者が安心して老後を過ごせる環境づくりに努める。



商店会補助金

Q【代表質問】商店街核店舗の経営環境は厳しさを増している。商店会向け各種補助金の補助率等について引き上げを継続すべき。

A【市長】令和5年度については、昨年度に引き続き、商店街路灯などの電気料の補助や、各商店街が行う祭りやイルミネーションなどを支援する商店街活性化事業に対する補助金の引き上げを継続して実施している。

街路灯の電気料については、さいたま市商店会連合会からの要請もあって、全額を補助している。

今後については、消費の拡大や賑わいの創出に資する商店街の活性化に積極的に取り組む。



沼影市民プール

Q【代表質問、スクリーン使用】沼影市民プールの存続、並びに義務教育学校武蔵浦和学園の計画中止を求める。

A【小川副市長】武蔵浦和駅周辺においては、児童数の増加により、学校施設がひっ迫し、さらなる児童生徒増加への対応が喫緊の課題となっている。過大規模校という課題を解決するため、「沼影公園プールの廃止」及び「沼影公園プールと沼影小学校の用地を一体的に活用した、義務教育学校とスポーツ施設の設置」を決定し、沼影プールの代替案である「レジャープールのあり方方針(案)」をまとめた。「[あらかた方針\(案\)](#)」→



デュケイン大学

Q【代表質問、スクリーン使用】(本市姉妹友好都市である米国ピッツバーグ市にある)デュケイン大学との連携の推進について。

A【市長】ピッツバーグ市姉妹都市提携25周年を迎え、今年7月に私と議員団で友好訪問と視察を行った際に、デュケイン大学では、大学学長、副学長から、連携の今後について、前向きな言葉をいただいた。今後は、今年度実施した高校生の派遣事業を、継続的に実施、生徒による交流にとどまらず、社会人の学び直しのためのプログラムやオンラインを活用した職員の交流など、様々な可能性について検討する。 [デュケイン大学](#)→



大宮小学校

Q【代表質問】大宮小学校は、校舎の老朽化が進んでいるのに学校施設リフレッシュ計画に盛り込まれていない。早急に示してほしい。

A【教育長】大宮小学校のあり方について、これまでに教育委員会はプロジェクトチームを教育委員会内に設置して先進事例の視察や調査・研究を進めている。

大宮小学校は築60年以上が経過して、早期に施設の更新を進めていかなければならないので、「大宮駅東口周辺公共施設再編 公共施設跡地活用全体方針」の「駅前賑わい拠点」の位置づけを踏まえて、良好な教育環境を確保した地域にふさわしいあり方、これを都市局とともに早く提示できるように努める。



七里駅北側の桜

Q【代表質問、スクリーン使用】七里駅北側特定土地区画整理事業について、七里駅北側の桜を残すことは考えなかったのか。

A【小川副市長】現在位置に桜を残す場合、道路や宅地の見直し、公園の位置変更など、地区全体に影響を及ぼす事業計画の変更を伴うものとなる。そのため、事業計画の変更を行うには、組合内の合意形成に多大な時間を要し、事業の進捗に大きな影響を与えることから、困難であると土地区画整理組合より伺っている。

Q 移植について検討状況を教えてください。

A 桜を守る会に理解いただける方法を、現在、検討している。



宇宙のまち

Q【代表質問】「宇宙のまち さいたま」の、今後の可能性について。竹居秀子教育長の考える今後の可能性について。

A【教育長】教育委員会としては、宇宙が、手が届くところまできた今、宇宙飛行士や科学者など、宇宙開発の第一線で活躍したいという夢や志を持ち、その実現を真剣にめざしている子どもたちを、若田光一氏をはじめ、多くの企業や大学、研究者から構成される「宇宙のまち さいたま」サポーターと共に、全力で応援してまいります。

[「宇宙のまち さいたま」](#)→



高砂小学校

Q【代表質問、スクリーン使用】アクションプランに位置付けられている、高砂小学校のリニューアル事業について、どういった進め方を考えて検討しているか。

A【教育長】高砂小学校のリフレッシュ計画事業は、浦和駅周辺まちづくりビジョンにおいて、アクションプランとして検討されていることから、まちづくりや地域の発展に貢献する事業である。

教育委員会としては、引き続き、関係各課と連携を図りながら、地域ニーズに寄り添った市民の満足度の高い学校施設とはどのようなものか検討する。

[浦和駅周辺まちづくりビジョン](#)→



教育バウチャー

Q【川村準】子育て世帯の経済的負担の軽減及び子どもの学習機会の提供のため、大阪市の取り組みのような塾、スポーツ及び文化活動などの補助を行う教育バウチャー制度(引換券・割引券・金券・利用券など)をモデル的に実施できないか。

A【子ども未来局長】本市でも、「チャレンジスクール推進事業」や「子どもの社会参画推進事業・子どもがつくるまち」などを実施してきた。生活困窮世帯の小中学生や中高生を対象に、学習機会や居場所を提供する「学習支援事業」にも取り組んでいる。

バウチャー制度のモデル実施も含め、引き続き多様な子育て支援施策について検討する。



駅エレベーター

Q【堀川友良】ニューシャトル吉野原駅エレベーター設置に向けた見直しについて。

A【都市局長】吉野原駅にエレベーターが設置できない理由は、駅舎が大変複雑な構造となっているからである。エレベーター単独での設置は難しいことから、駅舎の大規模改修にあわせて対応する。

Q 宮原駅西口のエレベーター改修工事では、約2か月使用できず、利用者が不便であった。今後、工事中の代替機能について。

A 議員ご指摘の、エレベーター工事期間中の代替案については、各エレベーターの設置箇所の現地の現状などを踏まえて、他自治体の取り組み事例等を参考にして、検討する。



原山地区公共施設

Q【石関洋臣、スクリーン使用】原山市民プール及び原山公民館の敷地内に、集会所を設置してほしいという地域の要望は、原山地区全体の公共施設のエリアマネジメントの側面が強くなり、都市局や教育委員会がそれぞれ単独で検討するよりも財政局で検討してほしい。

A【財政局長】原山地区については、現状、原山市民プールの方針や原山公民館の在り方について、検討段階にあるが、今後、地域ニーズも踏まえながら、当該エリアにおける公共施設の新設、更新等を行う前段階での事前協議を通じて、都市局や教育委員会などの関係所管と連携する。



トイレ表示板

Q【吉田一郎、スクリーン使用】片柳コミュニティセンターのトイレ表示板に中国語と英語しかないのはなぜか。

A【市民局長】ピストグラムによる表示をしていたが、施設管理者が中国語と英語による案内表示を追加した。

Q 中国語の「厕所(ツェ スオウ)」は日本語の「便所」を意味し、中国で40年前に使っていた言葉なので、日本語の「お手洗い」を意味する「洗手间(シー ショウ ジェン)」が適切。

A 観光庁から示されたガイドラインに対訳として記載している。

Q 市内公共施設で外国語表示だけのケースは。

A コミセンのトイレで、日本語表示がない施設は6施設。



青パトで高齢者移動

Q【堤日出喜】自治会等が所有する「青色防犯パトロール」の車両を高齢者の移動支援事業に活用できないか。

A【福祉局長】ご提案の、自治会等が所有する青パト車両を、高齢者等の移動支援事業に活用することについては、パトロール活動中と誤解されないよう、回転灯などを外すことにより、他の目的に使用することは可能であると埼玉県警察にも確認しており、送迎車両の確保のための、ひとつの有効な方法であると認識している。

今後は、自治会等が所有する青パト車両を含めて、地域資源の有効活用に努めながら、高齢者の移動支援事業を進める。



学び直しができる学校

Q【斉藤健一、スクリーン使用】文教都市さいたまらしい、不登校のまま学齢期を終えた子どもたちが、いつでも学び直しと再スタートができる教育環境の整備について。

A【教育長】進路選択は多様化してきており、不登校生徒等を対象とした特別な選択もあり、本市の市立高等学校も含め原則全日制及び定時制の過程をもつ全ての学校、学科で受け入れを行っている。議員ご提案の広島みらい創生高等学校の「学び直し」プログラムについては大変参考になるので、今後、国や他の自治体の動向を注視しながら研究する。 [広島みらい創生高等学校](#)→



次世代スポーツ施設

Q【中山淳一】与野中央公園に(仮称)次世代スポーツ施設を建設する計画について、多くの市民が納得していないと思うが、市民の理解を深めるために、どのように考えているか。

A【スポーツ文化局長】整備予定地の地元自治会関係者から、改めての説明を求める声もいただいていることから、今年(9月25・29日、鈴谷公民館)、説明会の開催を予定している。

今後についても、事業の進捗に応じて、引き続き丁寧なご説明に努め、より多くの市民のご理解を深めて頂く。

[\(仮称\)次世代型スポーツ施設基本計画](#)→



令和5年9月さいたま市議会代表&一般質問特集 注目質問・答弁抜粋、要約(文責 本紙) *詳しくはQRコードでご参照